

Magic xpi

SAP Business One アダプタのご紹介

OUTPERFORM THE FUTURE

Magic Software Japan K.K.



SAP Business One アダプタ

SAP Business Oneが提供するDI API(Data Integration API)を呼び出すことでSAP Business Oneに対し、データの検索、追加、更新、削除を行うことができます。

また、SAP Business Oneでデータが変更されたことをキャッチし、そのイベントをトリガとしてフローの処理を開始することができます(SBOトリガー)。そのことにより更新差分を簡単に取得できます。

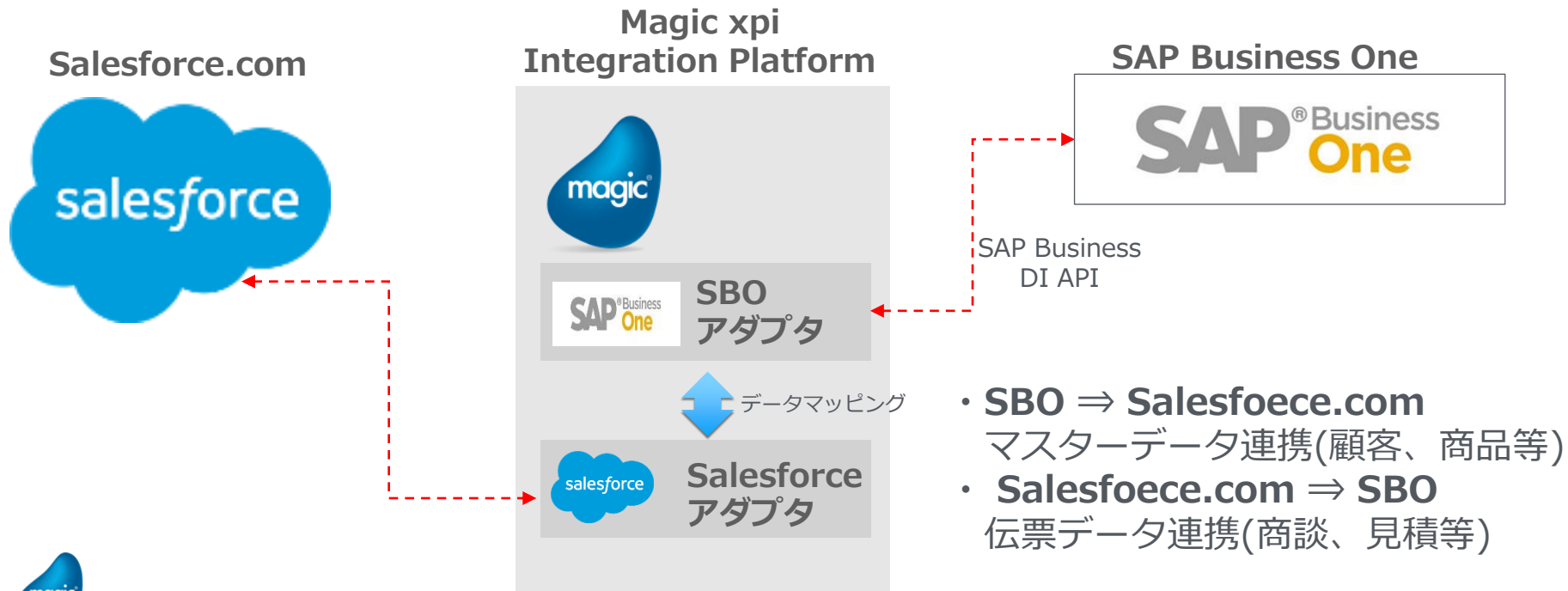
【主な特徴】

- ・ 複数のバージョンをサポート
： 2004,2005,2007,SBO8.8,SBO9.0,SBO9.2,SBO9.3
- ・ SAP社提供DI APIを使用 ⇒ **データ整合性の担保**
- ・ トリガー機能により、SAP Business Oneでデータが更新されたことをキャッチ
- ・ DBMSはMS SQLをサポート



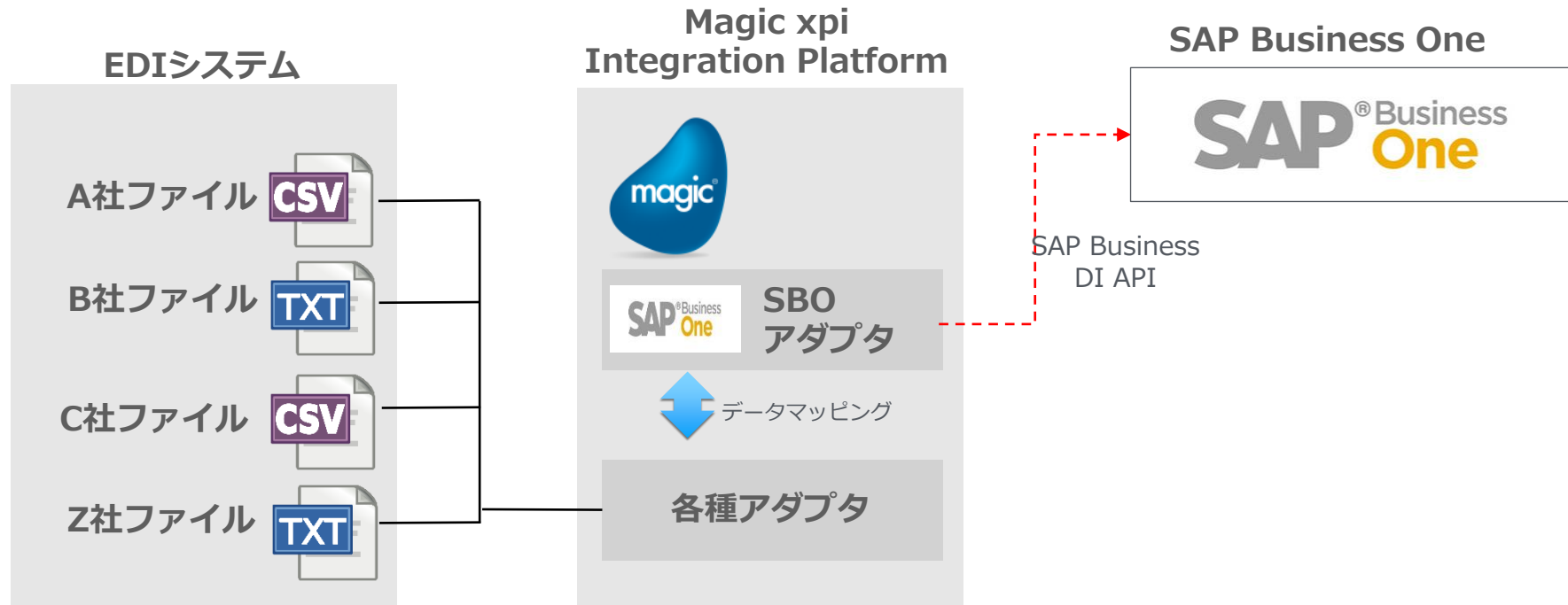
連携イメージ 1

■ クラウドサービスとの連携(例 : Salesforce.comとの連携)



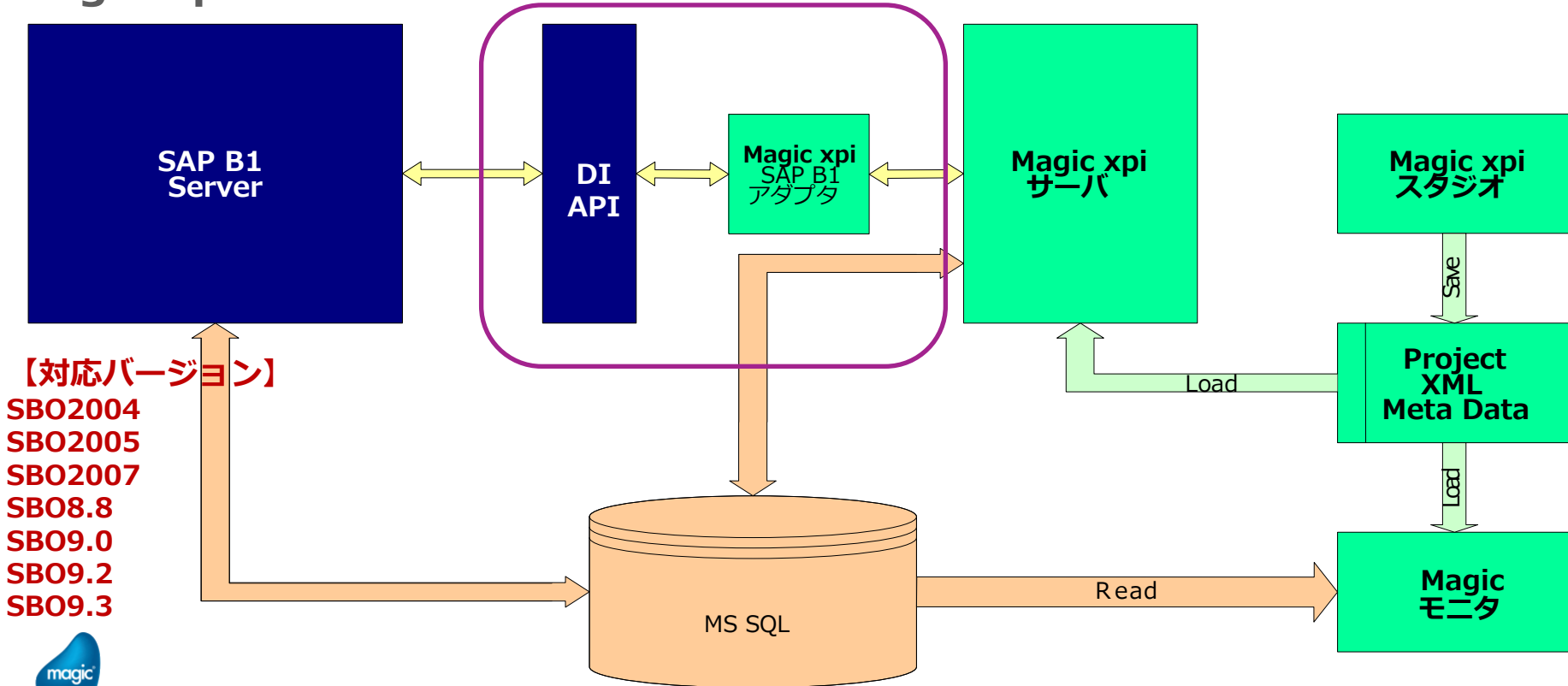
連携イメージ2

■ EDI連携 データ取り込み



SAP Business One アダプタ アーキテクチャ

Magic xpi のSBOアダプタは、DI APIから渡されるXMLドキュメントベース



OUTPERFORM THE FUTURE™

コーディングレス

- SBOのデータをアクセスするには、DI APIを利用します。
- 言語で開発する場合、開発者は、アクセスするロジック条件またコード値の情報などをコーディングする必要があります。
- 例えば、顧客番号'1903'をアクセスしたい場合は、下記のようにDI APIを利用してコーディングします。

```
Dim oComp As SAPbobsCOM.Company  
Set oComp = New SAPbobsCOM.Company  
Dim oBP As SAPbobsCOM.BusinessPartners
```

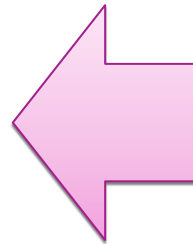
```
oComp.Server = "(local)"  
oComp.CompanyDB = "SBODemo_US"  
oComp.UserName = "manager"  
oComp.Password = "manager"
```

```
' No exceptions are handled  
oComp.Connect  
Set oBP = oComp.GetBusinessObject(oBusinessPartners)
```

```
oBP.GetByKey ("1903")  
oBP.SaveXML ("c:\¥bp1903.xml")
```

```
Set oBP = Nothing
```

```
oComp.Disconnect  
Set oComp = Nothing
```

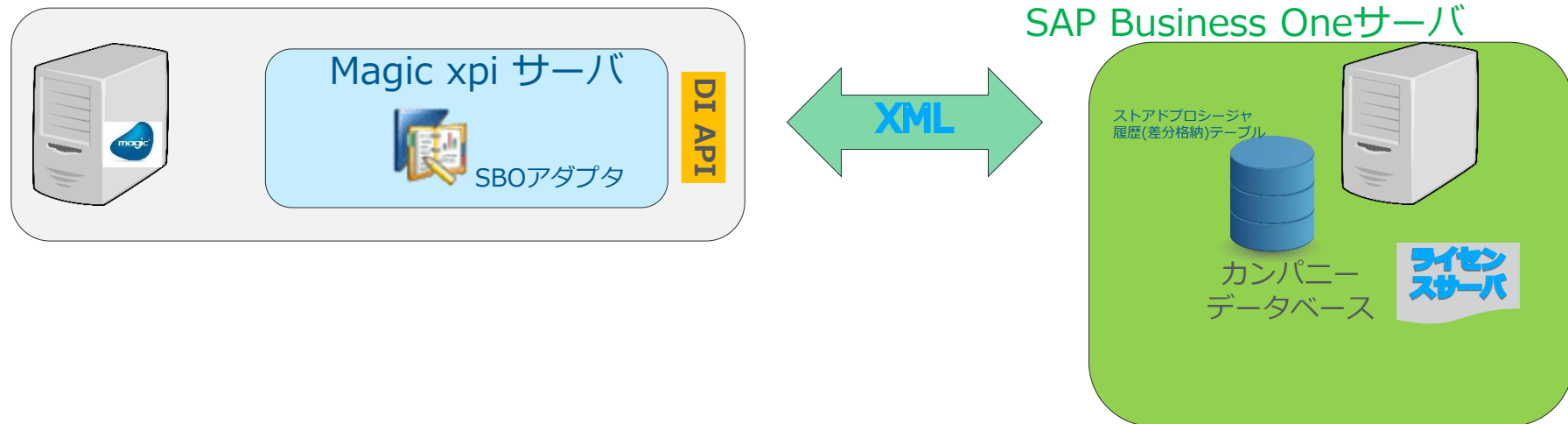


Magic xpiでは
コーディング
の必要なし

※VBでの記述例

接続構成

- SAP Business Oneが提供するDI API(32Bit)を使用



設定イメージ：リソース

■ SAP GUIで指定する接続情報を設定

設定

リソース

- MSJ_SBO_SMTP
- MSJSBO
- MSJSBO88
- MSJSBO92_2007
- SAP B1 88_1**
- SAPB190
- MSJSBO92
- MSJSAL2
- InternalDB
- MSJSBOSQL
- Database_1
- Database_2

サービス

プロジェクト環境

一般環境

#	名	タイプ	フォーマット	値
1	サーバ	文字	100	10.3.0.7
2	カンパニデータベース	文字	30	Magic_JP_2010
3	ユーザ名	文字	30	Msi2Sbo
4	パスワード	文字	30	*****
5	License Server/SLD Server	文字	100	SLD Server
6	ライセンス/ SLDサーバ	文字	100	10.3.0.7:30000
7	言語	数値	4	Japanese_Jp
8	DBサーバタイプ	数値	1	MSSQL 2008
9	Windows認証	数値	1	No
10	DBユーザ名	文字	30	sa
11	DBパスワード	文字	30	*****
12	DI APIバージョン	文字	30	88.0

ソース >> SAP B1 88 >> SAP B1 88_1 (SAP Business One 8.8接続定義)

License Server name or SLD server name.

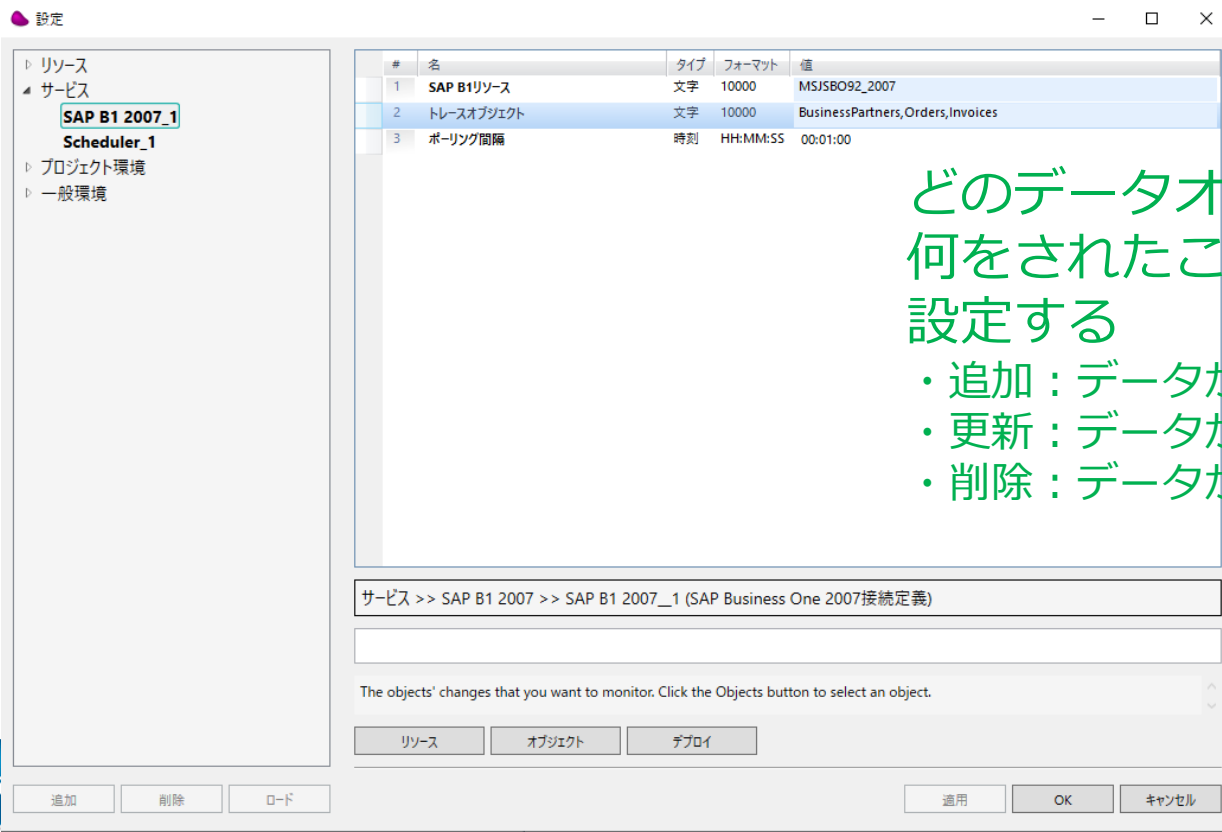
検証

追加 削除 ロード 適用 OK キャンセル

接続確認

設定イメージ：サービス

■ トリガーを使用する場合



どのデータオブジェクトが
何をされたことが知りたいのかを
設定する

- ・ 追加：データが追加されたことを検知
- ・ 更新：データが更新されたことを検知
- ・ 削除：データが削除されたことを検知

設定イメージ：サービス

■ トリガーを使用する場合

設定

#	名	タイプ	フォーマット	値
1	SAP B1リソース	文字	10000	MSJSBO92_2007
2	トレースオブジェクト	文字	10000	BusinessPartners,Orders,Invoices
3	ポーリング間隔	時刻	HH:MM:SS	00:01:00

サービス >> SAP B1 2007 >> SAP B1 2007_1 (SAP Business One 2007接続定義)

The objects' changes that you want to monitor. Click the Objects button to select an object.

リソース **オブジェクト** デプロイ

追加 削除 ロード 適用 OK キャンセル

SAPB1 2007 トレースオブジェクト設定

#	データ オブジェクト	追加	更新	削除	取消	閉じる
1	BusinessPartners	✓	✓	✓		
2	Orders	✓	✓	✓		
3	Invoices	✓	✓	✓		

新規 更新 削除 OK 取消

データオブジェクトと
オペレーション
(追加、更新、削除)
のマトリクスを作成

カンパニーデータベース
内に差分を検知するため
のStored Procedure、
履歴テーブルを作成

設定イメージ：ステップとして使用

■ オブジェクトタイプの選択

SAPB1 2007 設定

接続

リソース名: MSJSBO92_2007

セッション保持: ☒

オペレーション

オブジェクトタイプ: データオブジェクト ... Invoices

オペレーション: 追加

新オブジェクトキー: ... F.DocEntry

高度なクエリオプション

XML 出力タイプ: 3. ExportImportMode

結果保存: 変数 ...

クエリステータス: 空XML

マルチオペレーションエラー動作

エラー動作: 終了

XSDリフレッシュ

OK

取消

データオブジェクトリスト

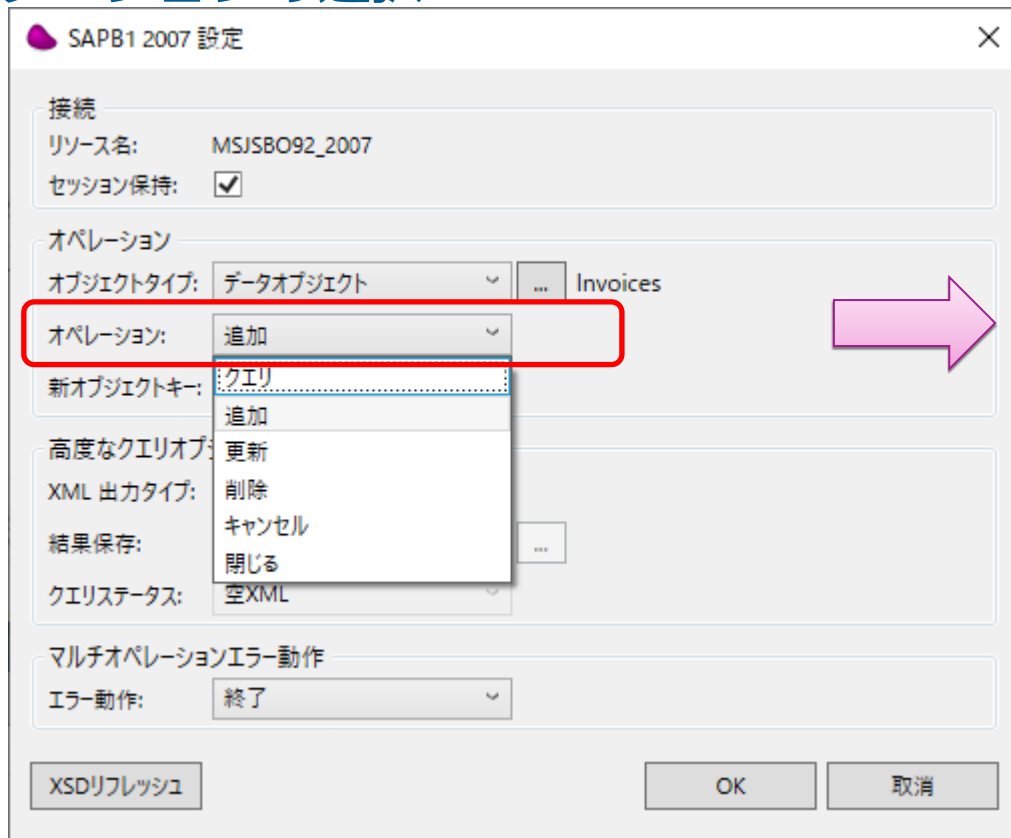
#	オブジェクト
1	AccountSegmentationCategories
2	AccountSegmentations
3	ActivityLocations
4	ActivityStatus
5	ActivityTypes
6	AdditionalExpenses
7	AlternateCatNum
8	Attachments2
9	BankPages
10	Banks
11	BillOfExchangeTransactions
12	BPPriorities
13	Budget
14	BudgetDistribution
15	BudgetScenarios
16	BusinessPartnerGroups
17	BusinessPartners
18	ChartOfAccounts
19	ChecksforPayment

公開されている

データオブジェクト
を選択

設定イメージ：ステップとして使用

■ オペレーションの選択



SAPB1 2007 設定

接続
リソース名: MSJSBO92_2007
セッション保持: ☒

オペレーション
オブジェクトタイプ: データオブジェクト ... Invoices
オペレーション: 追加
新オブジェクトキー: クエリ
高度なクエリオブ: 追加
XML 出力タイプ: 更新
結果保存: 削除
クエリステータス: キャンセル
クエリステータス: 閉じる
クエリステータス: 空XML

マルチオペレーションエラー動作
エラー動作: 終了

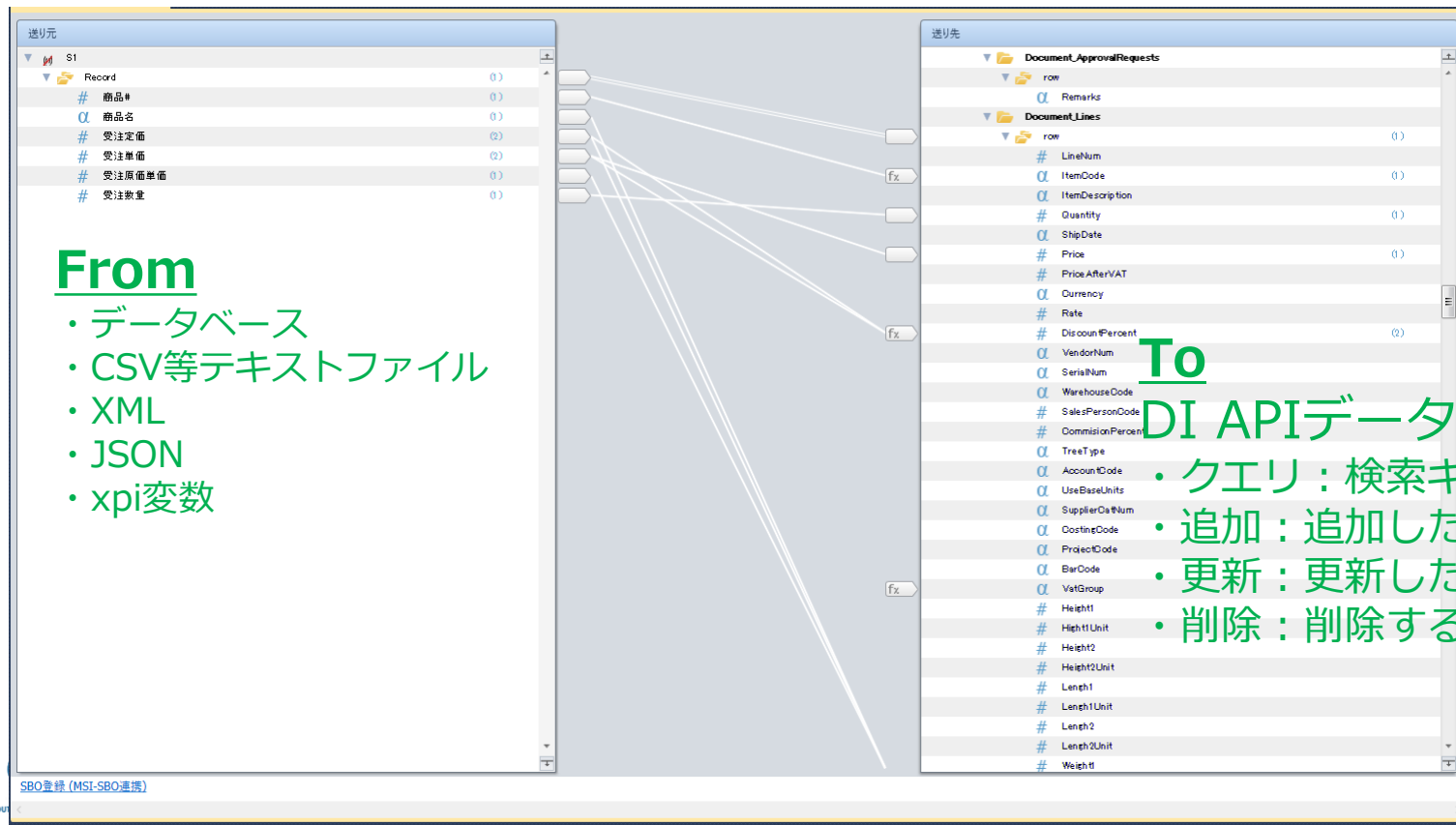
XSDリフレッシュ OK 取消

データオブジェクトに
対するオペレーション
を選択

クエリ : select
追加 : insert
更新 : update
削除 : delete

設定イメージ：ステップとして使用

■ 項目のマッピング



設定イメージ：トリガーとして使用

■ トリガーエリアに配置

SAPB1 2007 トリガー設定

サービス定義

リソース: MSJSBO92_2007

ポーリング間隔: 00:01:00

キープアライブ間隔(分):

#	データオブジェクト	オペレーション	終了アクション	XML出力タイプ
1	Orders	Update	UpdateStatus	ExportImportMode

データオブジェクトとオペレーションを指定

結果定義

トリガー クエリ保存: C.UserBlob

トリガー 情報保存: String C.UserString

トリガー (1)

New Data Mapper: 受注金額取出

000000

Service: 高

F.OrderTotal < 1000000

New BAM Service: 普通の注文

SBOで発生した差分を自動取得

SAP Business One アダプタまとめ

- SAP Business Oneのデータオブジェクトに対し、
 - クエリ、追加、更新、削除をコーディングレスで実現
 - トリガー機能でデータオブジェクトの更新差分を自動取得
- プログラミング不要
 - アダプタを貼り付け、設定するだけ
 - 短期間で作成
 - バグが出にくい

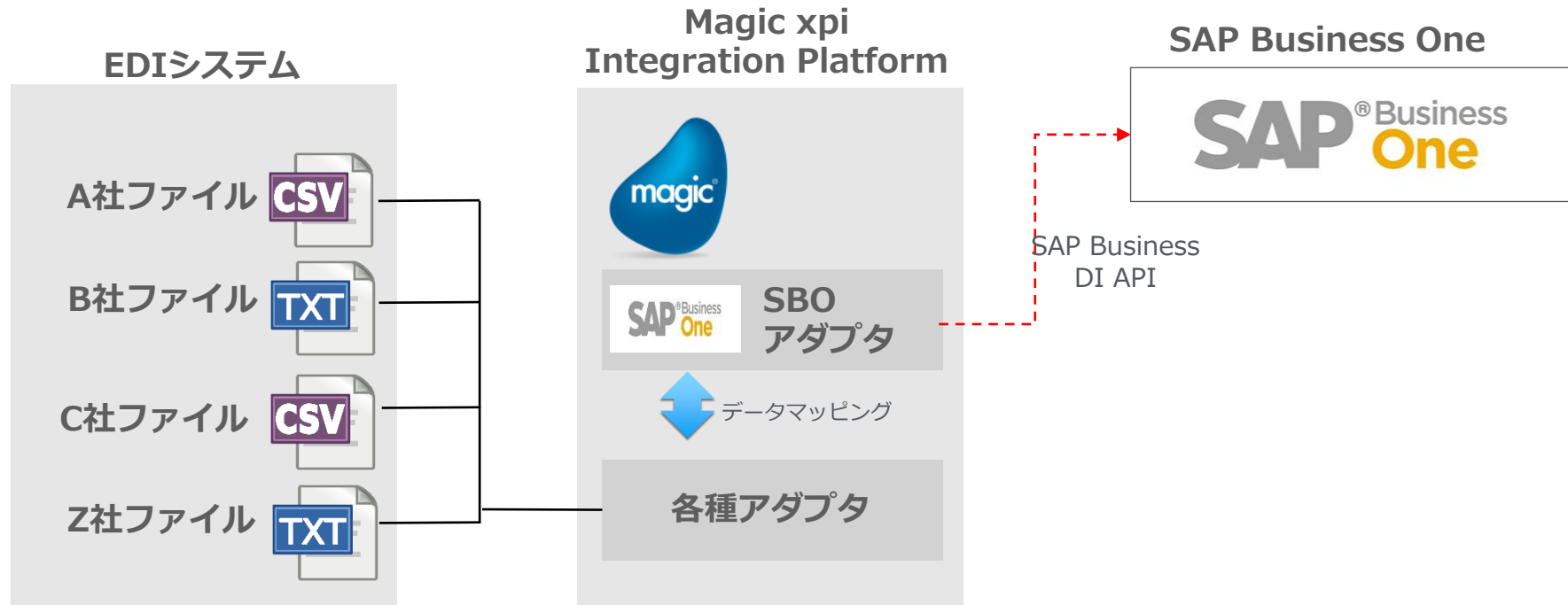
適用パターン



OUTPERFORM THE FUTURE™

連携イメージ2

■ EDI連携 データ取り込み



アダプタを利用した適用パターン

営業、現場担当、EDIシステム



クラウドだけでなく、外部リソースとのリアルタイム連携が容易に！

クラウドシステム



BIツール



Magic xpi
Integration Platform



プログラミング一切不要、
アダプタ設定のみで短期
間にAPI連携を実現

A low-angle, upward-looking photograph of two men in business suits shaking hands. The man on the left is wearing a light-colored suit, and the man on the right is wearing a dark suit. They are standing in front of a tall, modern building with many windows. The lighting is bright and warm, creating a positive and professional atmosphere.

THANK YOU!



OUTPERFORM THE FUTURE™